

令和4年度 秋田市在宅医療・介護連携セミナー アンケート結果

開催日時：令和5年1月14日（土） 14:00～16:00

開催形態：オンライン（zoom）研修

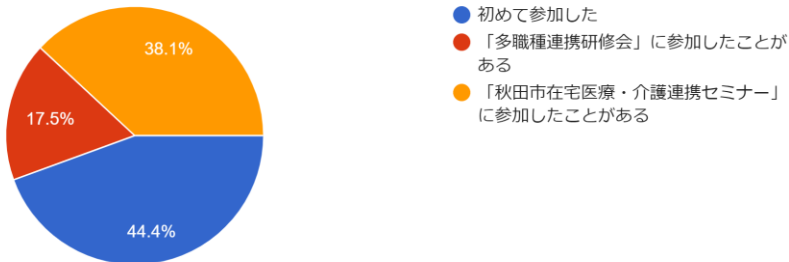
参加者数：90名（医師9名、歯科医師1名、薬剤師17名、看護師2名、介護支援専門員26名、
包括職員14名、ソーシャルワーカー1名、管理者3名、相談員1名、介護職員2名、
消防職員14名）

回収率：70%

I. セミナーについて

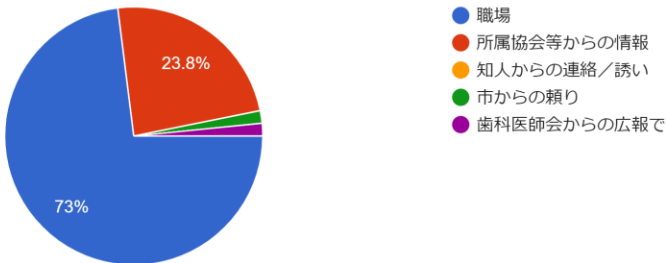
1. 本センターが開催するセミナー等への参加について

63件の回答



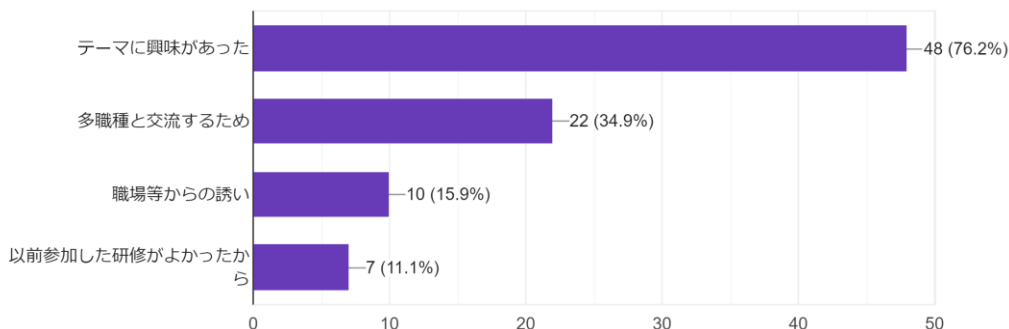
2. 本日のセミナーはどちらでお知りになりましたか

63件の回答



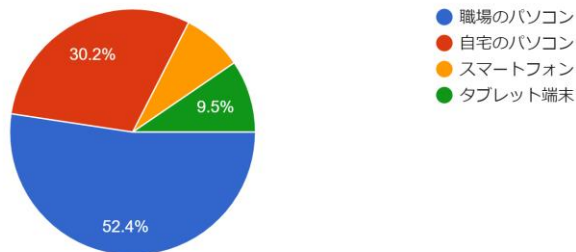
3. 本日のセミナーに参加した理由を教えてください（複数回答可）

63件の回答



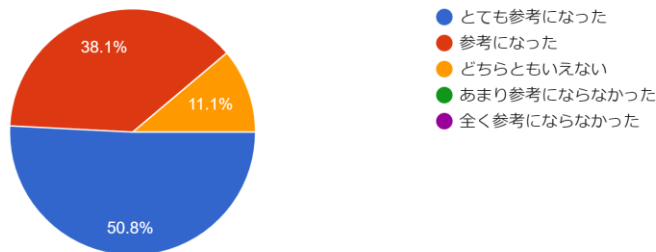
4. どのデバイスから参加されましたか

63 件の回答



5-1. 本日のセミナーの感想について（市からの情報提供）

63 件の回答

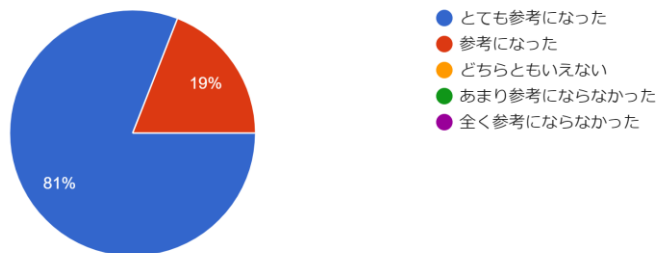


セミナーの感想について（市からの情報提供）

- ・ 行政の方からお話を聞ける機会が今まで少なかったの。
- ・ 病院・介護間の情報は薬局では知りづらいの。
- ・ 秋田県の実情の把握と A C P の再確認。
- ・ 知っていたことの確認時間になったの。
- ・ 入院時情報連携シートは知っていたが認知症サポートガイドブックの存在を今回で知ったため。
- ・ まず、何をするか、理解できました。
- ・ 秋田市の対応に関して全く知識がなかったの、非常に勉強になりました。
- ・ すでに知っていることだった。（2件）
- ・ わかりやすかった。
- ・ 普段聞けないような貴重な話を聞いてよかったです。
- ・ 現在進められている事業確認ができました。今後の救急業務との関わり方を検討していきたいと思えます。
- ・ サポートブック、家族会議のリーフレットの存在を知りました。今後活用していきたいと思えます。
- ・ 秋田市の入退院時支援ルールの使用目的が具体的に理解を深められることができた。
- ・ 緊急連絡先の情報が明確になった。
- ・ 秋田市の現在の取り組みが理解できた
- ・ すでに各ツールを使用しているところではあるが、さらに踏み込んで今後身寄りのない方々の意思決定支援についても行政の施策の方向性をご教示いただく機会が得られればと思った。
- ・ 情報シートやサポートブックなどの支援ツールを用いた取り組みの現状を知ることができた。
- ・ 認知症の方をどのように医療につなげていくか、理解が深まった。
- ・ 入退院時情報提供シートを使用してみたい。
- ・ 入退院時情報提供シートの存在が知れたので、活用したいと思えます。
- ・ 秋田市の対策が理解できた。
- ・ 入退院時情報共有シートは以前から使用。
- ・ 今後の動向など全体像や新しいツールを知ることが出来た。
- ・ 実際の事例もあり、普段お世話になっている医師の方も多かった為。
- ・ 秋田市の現状と、市の取り組みを知ることができた（2件）

5-2. 本日のセミナーの感想について（講演）

63件の回答



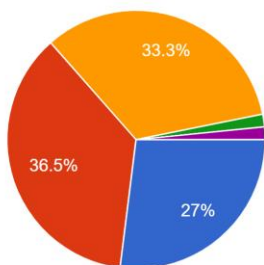
セミナーの感想について（講義）

- ・認知症の方への接し方や医療機関などへのアクセスについてよくわかりました。
- ・実践的でわかりやすかった。
- ・救急の話、認知症患者さんへの対応の話など参考になりました。
- ・表が分かりやすかった。
- ・家族への相談支援に対するヒントをもらえた。
- ・在宅医療・連携センターの取り組みや医療に関する情報を得られた。
- ・知らなかった情報を知ることが出来た。また、知っている情報についても再確認でき、今後の業務で活用していく事に繋げようと思えた。
- ・自分の業務をこなす上で、改めて持つべき視点を確認できた。
- ・秋田県精神科救急について知ることができた。（3件）
- ・藤枝先生のお話、きちんと全部聞きたかったです。興味深い話、また医師の視点からの話にて参考になりました。
- ・利用者に認知症を患っている方がいるため。
- ・みんなが、共有することが、大事ですね。
- ・認知症の方、家族への対応方法が改めて学べた。（2件）
- ・わかりやすく、参考になる情報が得られてとても良かった。
- ・今後自分の仕事に生かせるよう精進していきたいと思います。
- ・認知症の捉え方を再確認できました。私たちの対応により、患者さんの受け止められ方が変わることから、接遇方法の参考になりました。
- ・対応の方法等は、これまでも学んできていましたが、再認識することが出来ました。
- ・認知症の進行の説明を行う時に参考になる具体的資料もあり、認知症を支えていく方々と進行等を理解することで支援の内容も具体化できて行けるのではないかと再確認した。
- ・認知症への対処法にさらなる勉強ができ再確認したことも多かった。
- ・来局される患者様のうち、やや認知症が疑われる方への対応時に為になる情報をいただきました。
- ・認知症の方の経過および進行の程度に応じた対応などわかりやすく簡潔にお示し頂き、学びが多い内容だった。特に家族への教育的支援の重要性については日ごろから強く感じている次第で、今後も意識して業務にあたりたい。
- ・認知症の方への対応を中心に、様々な学びがあった。
- ・家族が認知症だから。
- ・認知症患者への関わりかたや症状のタイプ、経緯について知ることができた。
- ・医師がどのように診察を行ったり、説明したりするのかを感じ取れてとても勉強になりました。今後の薬局での対応について、今まで以上に質の高い情報提供ができそうです。ありがとうございました。
- ・精神系の救急に伴う輪番制のことや夜10時以降の電話連絡先のことなど普段認識していなかったので参考になった。
- ・認知障害の進行段階が理解できた。（2件）
- ・具体的な説明があり分かりやすかった。
- ・受診を拒否される方に対しての対応方法や、新しい言葉を知ることが出来た。
- ・認知症を早期に発見し、スムーズに専門医に繋げる手段を知ることができた
- ・事例を含め、よく理解でき、深い内容であり、業務に生かせると思いました。

Ⅱ. 情報共有のためのツールについて

6-1. 入院時情報提供シートについて

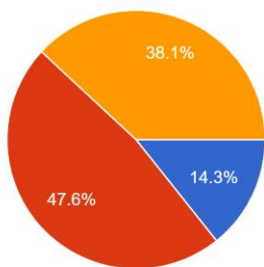
63件の回答



- 使った（受け取った）ことがある
- 見たことはあるが使った（受け取った）ことはない
- 見たことがない
- 別の書式を使っている
- 一度だけ使用したが、あまりにあまりに作成に時間がかかるため別の物を使っています。

6-2. 退院時情報共有シートについて

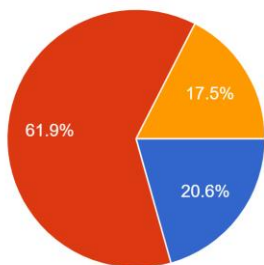
63件の回答



- 使った（受け取った）ことがある
- 見たことはあるが使った（受け取った）ことはない
- 見たことがない

7. 人生会議（ACP）リーフレットについて

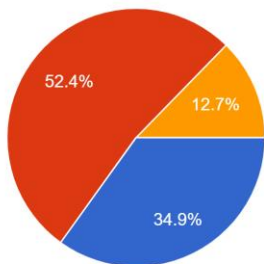
63件の回答



- 説明などに使ったことがある
- 見たことはあるが使ったことはない
- 見たことがない

8. 認知症サポートガイドブックについて

63件の回答

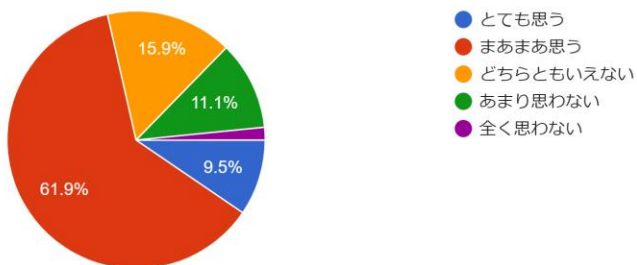


- 説明などに使ったことがある
- 見たことはあるが使ったことはない
- 見たことがない

Ⅲ. 連携について

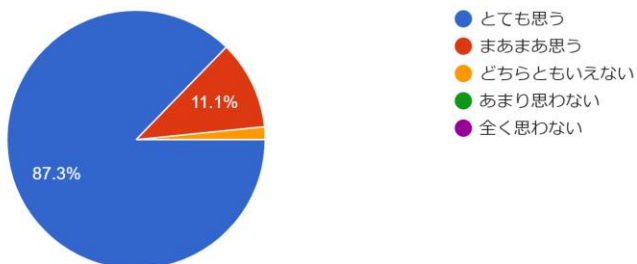
9-1. 身近では多職種連携が図られていると思いますか

63件の回答



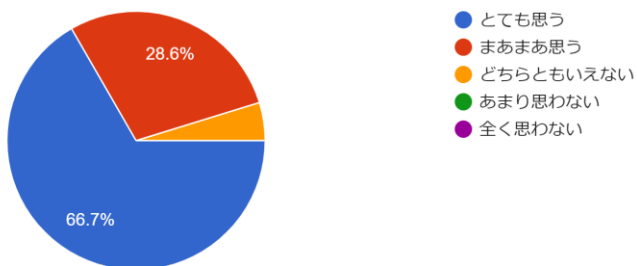
9-2. 多職種連携の推進が必要だと思いますか

63件の回答



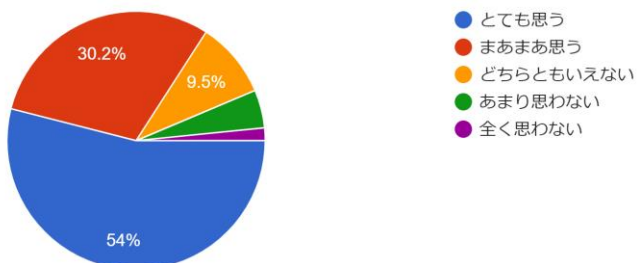
9-3. 本日のようなセミナー開催は多職種連携に有効だと思いますか

63件の回答



9-4. 多職種による親睦の機会は連携のために有効だと思いますか

63件の回答



10. 多職種連携の推進に、より有効だと思えることがあればおしえてください。

- ・感染症が落ち着けば懇親会
- ・お互いの立場を理解できる機会。（Drの考え方、介護者の考え方、救急の方の考え方など）
- ・職場内での伝達研修および呼びかけ
- ・踊る大走査線ではありませんが、「困りごとは、現場で起きているんだ」、「県庁や市役所の会議室で起きているんじゃないんだ」と、言ったところでしょうか、広報を出しているといっても、現場の人たちにしっかり伝わっているかどうか問題かと思えますし、使っている人たちのノウハウを知る機会がぜひ必要だと思っています。
- ・お互いができる事できない事の共有
- ・小グループでの事例検討などで、お互いの考え方や働きを知ること。
- ・ざくばらんな飲み会
- ・それぞれの職種で行っている取組とその課題の共有をすることと、どのように各職種がつながり業務を進めていくかを共有することが必要だと思います。
- ・秋田市共通シートの活用推進
- ・ICTの活用
- ・関わる人がそれぞれ何ができるのかを把握していることが大切だと思う。
- ・グループワーク形式で事例検討などもあるといいのでは。その際のグループの組み方の工夫があれば今後の実務にも生かせる機会になると思う。
- ・連携の症例提示 連携の奏功例など
- ・患者情報が可能な範囲で共有できること
- ・各包括支援センター発信で、困った症例について各職種へ事前アンケートを行って、回答をまとめる。その後、協力頂いた関係者様へフィードバックするのはいかがでしょうか。1年に4～5回程度の頻度で。多職種連携会議とは別に、メール・手紙等で行うなどの日時が縛られない方法であれば、対応可能な所も増えるのではと思います。
- ・ご本人の望む生活を達成するには情報共有
- ・気軽に話し合える環境。メール、Lineなどツールでのやりとりなど。
- ・介護と医療の連携が主となっているが、今後地域の方の支えが必要であり職種に限らず連携の推進は必要と感じている。
- ・情報共有することで利用者への支援を一本化することができる。
- ・入院時情報提供シートや退院時情報共有シートの内容の利用が有効だと思い、利用してみたいと思いました。

11. 取り組んで欲しいテーマや内容、セミナーの進め方などがあれば記入して下さい。

- ・どんなものでも参考になります。
- ・現状、思い浮かびません。
- ・看取りについて
- ・今後、加速度的に秋田県は多死社会を迎えます。個々人の問題だけではなく、市並びに県がどのように考え、どのように対応していくつもりなのかについて、医療関係者に話をする場があればと思います。
- ・薬について。高齢者では、一見元気な方でも薬がきちんと飲んでないことがかなりある。残薬が数ヶ月分ということも少なくないので、薬の出し方（多すぎる）や飲ませ方（どうしたら忘れずに飲めるか）などを、多職種で検討することが必要だと思う。
- ・大変勉強になりました。
- ・秋田市の病気罹患率について等
- ・様々な困難事例との関わりで成功体験、失敗談等を取り上げてほしいです。
- ・身寄りのない方々の意思決定について。医療機関以外における看取りの在り方について。
- ・独居老人 介護放棄など社会福祉を受け入れない方の対応
- ・医療、介護サービスの利用の現状など
- ・ショートステイ等での看取りの現実について、少し話が出ていました。ショートステイ、デイサービス、特養などの実情を知りたいです。
- ・コロナ禍で対面が難しい状況ではあるが、情報交換を気軽にできたらと思う。顔がみえる関係性を作る。

- ・特養化しつつあるショートステイでの看取りのやり方について（看取り対応するショートステイが少なく、入院適用にもならず、看取り期の対応に苦慮している為）
- ・在宅看取りの事例、対応例など
- ・初めてでまだわかりませんが、是非参加していきたいと思います。

12. その他ご意見、ご感想を自由にお書き下さい。

- ・その方らしい生活を送るうえでの介入において、薬が占める割合は小さいことが多く、薬局薬剤師にできることは何だろうと思うことが多々あります。
- ・先生の話がわかりやすかった
- ・この素晴らしい内容をもっと多くの方に聞いてほしい
- ・認知症についてや連携についてとても参考になりました。
- ・コロナ的环境下では臨みづらいのですが、直に会って話し合う場があればと思います。
- ・身体科の主治医がいて、ご本人が精神科受診を拒否している場合認知症の診察につながらないケースが多いと感じます。
- ・本日はお忙しい中講演いただきありがとうございました。今後自分が仕事をしていく上できちんと理解して仕事に従事して行きたいと強く思いました。本当にありがとうございました。
- ・行政、医師、救急の話が聞けて勉強になりました。ありがとうございました。
- ・貴重なお話ありがとうございました。事務局の皆様スムーズな進行お見事でした。お疲れさまでした。
- ・貴重な勉強の機会を与えてくださりありがとうございました。
- ・大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- ・大変参考になりました
- ・ありがとうございました
- ・一人に対して多くの職種が関わりあって、支えていくという現状をより実感できたセミナーでした。また、薬局として何をしてあげられるのか、他の職種の方々が薬局に求めているものは何か、深く考えさせられる内容でした。また機会がありましたら、参加したいと思います。
- ・精神科主治医がいれば良いということが勉強になった。
- ・認知症に関する今回の研修会、とても勉強になりました。認知症の方への寄り添い方、地域での見守り、どう対応していくのか。身近に起こりうる状況を事前に学べたことが大きかった。地域での見守り、大事である。
- ・医療的立場の方のご意見を伺う事で、何を求められているのか、また、今後どのように業務をしていかなければいけないかを考える良い研修会でした。
- ・入院時情報連携シートをFAXで活用しましたが、チェック欄が黒塗りになるのでFAX活用できないと思いました。
- ・医療と介護の切れ目ない連携ができるように様々な職種が「お互いの役割」を認識し、共通の目的に向かうためにも入退院支援ルールが必要だと思った。
- ・藤枝先生の講義が、現在の自分が知りたかったことであったので、興味深く聞くことができました。ありがとうございました。